

私のすすめるこの1冊

染谷 藤重 (英文学科 講師)

『学習意欲の理論：動機づけの教育心理学』

鹿毛 雅治 (著)

私の研究分野は、主に英語学習者を対象とした動機づけに関する研究である。その理論的背景を詳細に解説している本が、「私のすすめるこの一冊」：『学習意欲の理論：動機づけの教育心理学』（鹿毛, 2013）である。

この本の中には、過去から現在に至るまでの教育心理学的知見からの動機づけ理論が解説されており、今後の皆さんが教員になった時に、感じるであろう「学習意欲を引き出すためにはどのようなことが必要なのだろうか」という問いに答えてくれる一冊になるであろう。「学習意欲とは何か?」「動機とは何か?」「動機づけとは何か?」という基本的なことにもこたえてくれる。

私の研究は、主に英語教育に自己決定理論を応用したものが多い。「自己決定理論 (Self-determination Theory: SDT)」とは、Deci and Ryan (1985) によって提唱された理論であり、国内外の教育心理学の分野で多くの研究が積み重ねられてきた最も有力な動機づけ理論の一つである。それは、「成長と統合に向かう自己の傾向性および、より統合された自己の感覚を発達させていく傾向性を生得的に備えているという生命論的視座に立脚した動機づけの考え方」（鹿毛, 2013, pp. 182-183）であるとされる。

特に、自己決定理論の「土台」として位置づけられている考え方が、「基本的心理欲求理論 (Basic

Psychological Needs Theory: BPNT)」であるとされている。基本的心理欲求理論とは、自律性 (Autonomy)、有能性 (Competence)、関係性 (Relatedness) の欲求充足が、内発的動機づけの促進、人間の成長、統合的な発達、ウェル・ビーイング (Well-being) のために不可欠であるという考え方である。この考えを英語の授業の中での動機づけと関連づけることによって、英語教育の自己決定理論における研究は躍進し続けている。

『学習意欲の理論』では、この基本的心理欲求理論に関しても、詳細に説明されており、特に、韓国の研究者である Reeve, J の理論を参考に記述されている。心理的3欲求の充足は、児童生徒及び学生の授業へのエンゲージメントを促進するという内容が特徴的である。その背景には、教師の自律性支援的教授 (Autonomy Supportive Teaching) が不可欠であると述べ、「自律性支援→心理的3欲求の充足→エンゲージメントの促進」という授業内でどのようにエンゲージメントを高めていくかに関して記述している。

2017年の学習指導要領の改訂により、「自律的な学習者」の育成が急務となっている現状を考えると、再度、自己決定理論における自律性支援の観点からの指導を見直し、今後の教育の充実に寄与する考え方を得られる一冊であると考えられる。



購入希望（リクエスト）をご利用ください！

図書館アンケートにより、選書に関するご希望を多くいただきました。

いただいた意見の一部

- ・日本で人気のある本をもっと置いてほしい。
- ・文庫本も増えると嬉しいです。
- ・新刊をもっと多く置いてほしいです。
- ・教科に特化した本、特に洋書が少ない。

教員推薦、シラバスに加え、文庫やシリーズの継続購入、年に数回新刊書の選書・購入等をしておりますが、まだまだ利用者の皆様の学習・研究に不十分な状態にあるようです。

附属図書館では「本学学生の学習・研究を直接援助すること」を目的として購入希望（リクエスト）を受け付けています。

本学学生ならばどなたでもリクエストできます。ご希望がございましたらカウンターやOPAC「新規購入依頼」にてお申し込みください。

※特定の条件により、附属図書館委員会や話題書企画としての選定となる場合、購入できないことがあります。

日々のレポート課題や卒論・修論に向け、ぜひお早めにご利用ください。

新型コロナウイルス感染症の対応のための臨時休館について（報告）

附属図書館は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、8月3日（月）～8月16日（日）臨時休館いたしました。

8月6日から8月12日午前までの受付の郵送貸出、貸出中の資料の返却期限日の変更を行いました。



貸出準備中の様子です

8月17日（月）より再開館しております。再開館後も感染拡大防止のため、当面の間、リフレッシュラウンジ、ラーニングcommons、グローバルスクエアの利用不可（資料利用は可）といたします。

今後とも状況により、変更になる場合があります。変更が生じた場合は、附属図書館ホームページ等にてお知らせします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年度利用統計

サービス統計	R1 年度	H30 年度	
入館者数	89,080 人	89,445 人	
貸出冊数	24,669 冊	24,203 冊	
うち学生への貸出	20,143 冊	19,716 冊	
図書貸借	依頼	139 件	110 件
	受付	144 件	222 件
文献複写	依頼	328 件	408 件
	受付	649 件	663 件
複写枚数(学外・学内)	12,137 枚	17,887 枚	
レファレンス(参考調査)	873 件	1,065 件	

蔵書冊数	R1 年度	H30 年度
図書	454,392 冊	448,742 冊
うち開架図書	314,227 冊	310,261 冊
雑誌	6,758 種	6,742 種
新聞	12 種	14 種

図書館を、どんどん活用してくださいね！



京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第22回のお知らせ

YouTubeで公開予定です!

【講師】田中 多佳子 (音楽科 教授)

【テーマ】音楽って何だろう



主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援: 京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

Web オープンキャンパス開催中!

2020年の京都教育大学オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から場所をWebに移し、オンデマンド型で開催しています。新たに撮り下ろされた各専攻の紹介動画には、皆さんの皆様と一緒に図書館施設も登場しています♪ぜひチェックしてください。

URL:<https://www.kyokyo-u.ac.jp/opencampuss2020/>

児童書コーナー (南館1階)

幼児教育科主催
えほんのもい

学生による絵本のよみきかせ
< 前期は、おやすみです >

今月の絵本カード (学生作)

『ずーっとずっと
だいすきだよ』
作: ハンス・ウィルヘルム
訳: 久山 太市
出版社: 評論社



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

有効期限の延長について

2020年9月末で本学を修了する予定の方(科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む)は、貸出可能な有効期限が9月10日(木)までとなっているため、返却期限日も9月10日(木)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月10日(木)以降も研究を継続する場合に限り、有効期限を9月30日(水)まで延長することが可能です。

カウンターにて手続きして下さい。なお、図書館への入館・閲覧については、手続き不要です。(9月30日(水)まで利用可能)

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生: 7月25日(土)~9月19日(土)
院生・教職員: 7月11日(土)~9月5日(土)
【返却期限日】10月5日(月)

※卒業・修了予定者は9月10日(木)まで
※臨時休館中に返却期限日となった利用につきましても長期貸出に変更いたしました。

雑誌の製本作業について

8月から10月下旬(予定)まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2018年~2019年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階(書庫)に並べますので、そちらをご利用ください。
※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品 (8・9月)

「縄文土器 深鉢」
醍醐遺跡(滋賀県長浜市)出土

展示場所: 図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **榊原 禎宏** (教育学科 教授)

教員の学校配置と学校間転任に関する事例研究—その傾向と多様性, 学校政策の影響—

榊原禎宏・松村千鶴・浅田昇平
京都教育大学紀要 2020, No.136, pp. 109-125.

学生のみなさんは、教員として働くことをどのようにイメージしていますか。何年生のクラスを受け持ち、児童・生徒たちとこんな授業をして、あるいは校長をはじめ同僚から多くのサポートを受けてと、期待と不安を抱いていることでしょうか。さて、こうした教員の仕事の前に決められるべきことがあります。その一つが、いずれの学校で働くことになるのか、です。

日本の場合、公立学校の教員ならば、都道府県または政令指定都市の教育委員会が、学校への配置を決定します。たとえば京都府や京都市で教員に採用されると、全府または全市の学校が対象になり、どの学校に赴任することになるのか、着任の直前までわかりません。

また、この決定は初任の時だけではありません。年度末の新聞の別刷版に、教職員の名前が載ることを知っている人もいるでしょう。校長や教員のほか、養護教諭、事務職員、栄養教諭等は数年のうちに再び転任し、新しい学校で教職員と児童・生徒さらに保護者等と関係を築くこととなります。よって、教職で職業人生を過ごすならば、多くの教員は6~8校程度、あるいはそれ以上の学校を経験するのです。

この学校間転任は、教員の学校観、児童・生徒観、ひいては教育観に大きく影響すると考えられています。同じ小学校といっても、児童数、地域社会、教職員構成と多様なことが想像できるでしょう。全局的視野を持つべき教員として、いろいろな学校での学級・学年経営や授業経営、さらには学校経営を経験し、多様な保護者と地域に接することで視野が広がり、新鮮な心構えで職務に臨むことが期待されています。

では、実際に採用された教員がどの学校に配置され、いつ別の学校に動き、さらに数年後に別の学校等へと異動しているのか。その実証研究はほとんどありません。本報告は、ある「県」で2007年度と2009年度に小・中・高校の教諭として採用された計658名を対象に、かれらの採用後10年間の学校等への配置と転任を追うことで—作業としては、模造紙5メートル近くに及ぶデータを作成して—その特徴と傾向を明らかにしようとしてしました。ぜひ一読ください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要136号に掲載されています。
※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUER)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2020年9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

9/2 館内整理日
9/5 大学院入試

2020年10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

10/1 後期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://toshok2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.240 (2020年9月号)

発行日:2020年9月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION